

しんじ新聞

No. 526

いつもありがとうございます!

2019年 11月
品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ



※毎週、区政や区内の出来事についてご報告しています

☆☆ 品川区イス 526 ☆☆

◇デフサッカー男子日本代表監督

デフサッカーは、聴覚に障害を持つ方のサッカーです。基本的なルールは通常のサッカーと同じ。競技中は補聴器を外すことが義務付けられていることから「音のないサッカー」の愛称で呼ばれています。ピッチ上ではアイコンタクトや手話でコミュニケーションを取っています。この日本代表チーム監督は、品川区出身の植松隼人さんです。さて、出身区立中学校は？

- ①伊藤中学校（現：伊藤学園）
- ②東海中学校
- ③浜川中学校
- ④鈴ヶ森中学校◎難易度☆☆☆



決算特別委員会報告②

民生費

子育て、障害者・高齢者福祉等
⇒749.2億円

☆歳出全体の46.3%を占めます!
最大の支出分野です。前年比1.7%増

Q:《区立認可保育園、オアシスルーム》

- ①区立認可保育園のICT化の進捗について。
- ②オアシスルームを勝島地域・南大井地域への設置を。

A:①昨年度から、2歳児の連絡帳を7園でモデル実施。来年度、全園に拡大できるように頑張っていく。②地域的なノウハウがあること、より身近な場所や特定の地域への設置要望は、区民の方からの声を認識している。検討を続ける。

注 オアシスルーム＝主に在宅で子育てをしている保護者の方が用件（買い物・通院・リフレッシュ等）をすませる間、一時的にお子さんをお預かりする事業。区内12ヶ所。勝島・東大井・南大井・南品川地区等には、ありません。早急な対応を!
◎オアシスルーム・ホップルーム運営 4億4,960万円



高橋しんじプロフィール

平成31年4月6,205,403票(1位)のご支持を頂き、現在4期目。若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早実高、早大(政経学部政治学科 専攻は地方行政)・同大学院博士課程で学ぶ。東大研究員、塾などを経て、教師(早実高、都立日比谷高・青山高・大森高)。軟式野球ルーキーズ監督。平成19年初当選(2541票)、平成23年5232票(1位)。平成27年5551票(58票差で2位)。『議員力検定1級』合格☆初心を忘れずにガンバります!



しがらみのない無所属

七五三

前号に引き続き、今号は、決算特別委員会(30年度歳入・歳出)の審議のうち、**歳出**：民生費・衛生費・産業経済費の一部をご報告します。Q：他議員の質問 A：区の答弁
◎平成30年度決算額 ☆私のコメント
・歳出 **区民1人当たり 約42万円**
総額 1,668億8,043万5,850円

Q:《保育所での医療的ケア児受け入れ》

- ①区の受け入れ状況は。
- ②今後の受け入れ状況は。
- ③受け入れ体制の準備・配慮は。
- ④今後の課題は。



A:①平成28年たん吸引の児童1名。今年、経管栄養が必要な児童1名。②今年度中は2名の入園を予定している。また、複数の保護者から相談が来ている。③看護師1名の加配(=プラスの配置)、保育士の研修、園医との連携、園児の通院先に園長と看護師、担任保育士が出向き、保育上の留意事項を医師に確認している。④関係機関との連携、看護師・保育士の養成と配置、医師の確保など様々ある。

注 医療的ケア児＝日常生活の中で医療を要する状態にある障害児。たん吸引、経管栄養(鼻からなど⇒)などの医療。

高橋しんじ事務所

品川区東大井4-13-11-304 〒140-0011
TEL:03-5461-8757 FAX:03-5461-8763
E-mail: takahashi-shinji@spa.nifty.com
ホームページ: [品川区 高橋しんじ](#) 検索

☆過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。
☆『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。
☆『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。



区政報告

No.526 2019年11月

発行者：高橋慎司 Tel 03-5742-6864
〒140-8715 品川区広町2-1-36 4階

☆区政へのご要望をお寄せ下さい！！
☆ご希望の方に「区政報告」（「しんじ新聞」）を郵送でお届けいたします（送料は当方で負担します）。

11/28（木）区議会本会議で質問します！

◇11/28（木）15:30ごろから（約20分間）
・インターネット（品川区議会HP）ライブ中継
・ケーブルテレビ品川では、録画放送します。
12/4（水）20時～。12/7（土）15時～

【質問項目（予定）】

- ①教育施策について
 - ②福祉施策について
 - ③街づくり施策について
- 頑張ります！**



Q:《民生委員について》

住民の身近な相談相手として、日常的な見守り・相談支援、関係機関への連携等、地域福祉のための活動が無償で行っている。定数や充足率は。

A：①民生委員・児童委員は定員299名で充足率90.97%（今年3月）。②主任児童委員は13地区×2＝定員26名で充足率84.6%（同）。3年ごとの改選の年は充足率は低くなるが、3年かけて埋まってくる。平均年齢は、①66.4歳②57.8歳。◎民生委員活動経費6600万円
☆介護、子育て、生活困窮等、の相談活動や一人暮らし高齢者・高齢者世帯・子どもの見守り活動などで地域福祉に貢献されています。お住まいの地区を担当されている民生委員・児童委員をお知りになりたい方⇒福祉計画課 民生委員担当へ 03-5742-6708



Q:《インフルエンザ流行中》

東京都からインフルエンザ流行開始が公表された（9/26発表）。品川区の現状と対応は。

A:例年よりかなり早く流行が既に始まっている。学級閉鎖の学校もあった。自己負担がある定期予防接種のB型の予防接種として65歳以上全員に予防接種を送った。6～13歳未満は2回、13歳～15歳は1回1,000円のインフルエンザ費用助成事業（区独自）を今年から開始。積極的な接種を推進する。
☆助成を活用して、医療機関（区内、高齢者は23区でも可能）での積極的な接種を！



Q:《生活保護》

①受給者世帯と受給者数、今後の予測。②ケースワーカーの担当世帯数は、ワーカーの負担への認識は。◎生活保護経費 約121億円

A:①平成30年度4774世帯、5573人。はっきりと減少傾向とは言えない。高齢者世帯だけは世帯数、人数ともに増加している。②43人のケースワーカーが1人平均110世帯を担当。事業に対応するように職員を採用していきたい。★明らかに人員不足です！

注 ケースワーカー＝生活保護受給者に適正に保護費を支払うことや、求職活動により本人が自立できることを目指して指導を行う。生活保護業務には欠かせない職種。

Q:《ウーマンビジネスグランプリコンテスト》

武蔵小山創業支援センター（小山3丁目）は、女性の起業支援でコンテストを開催しているが、受賞者がほぼ品川区民ではなく、区外の方。応募条件にも区内の文字はない。

A:全国初の女性起業家をメーンとした公立施設だったので開設当初は、区外の方が多かった。最近では、区民の受賞者の比率は高くなっている。外から呼び寄せる果と区内で起業を目指す女性と、いろいろな連携し、最終的に区内での起業率を高める目的。◎武蔵小山創業支援センター運営費6053万円



クイズの答え：④鈴ヶ森中学校。

2017年10月に監督就任。今年は大リーグ出場権を取るためのアジア選手権、2020年ワールドカップ、2021年大リーグと予定されています。今年11/2～4に代表候補合宿が千葉で行われました。頑張ってください！

朝、駅前にいます！

◎『区政報告』をお配りしています。
◎議会等の事情で変更する場合があります。
◎見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい。

月・水 JR大井町駅前
火 京急青物横丁駅前
木 JR大森駅前
金 京急立会川駅前
☆各7:00-9:30頃